

ワイヤレスマイクロホン 防滴型ワイヤレスマイクロホン

WM-1270
WM-1230

このたびは、TOA ワイヤレスマイクロホンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目次

安全上のご注意	1	グループ番号とチャンネル番号の設定のしかた	4
概要	2	送信出力切換スイッチについて	5
特長	2	PAD スイッチについて (WM-1270 のみ)	6
使用上のご注意	2	トーン切換スイッチについて	6
各部の名称	2	故障かな? と思ったら	7
電池交換のしかた	3	外観寸法図	7
操作のしかた	3	仕様	8
上手な使いかた	3	付属品	8

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みにになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みにになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

医療機器の近くで使用しない

電磁波で医療機器に影響を与えることがあります。
本機の電源を必ず切ってください。



禁止



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

電池の液もれに注意する

半月以上使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
電池から液がもれて、火災・けが・周囲汚損の原因となることがあります。



強制

電池の取り扱いに注意する

次のことを必ずお守りください。
守らないと、電池の液もれ・破裂により、火災・けがの原因となることがあります。

- ショート・分解・加熱をしたり、火の中に入れてたりしない。
- 電池に直接はんだ付けしない。
- 指定した電池を使用する。
- (+) と (-) に注意し、表示どおり正しく入れる。
- 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する。



強制

概要

WM-1270は、音質の優れたダイナミック型マイクユニットを使用したボーカル用マイクロホンです。
WM-1230は、高感度で明瞭な音質のコンデンサーマイクユニットを使用した防滴型マイクロホンです。

特長

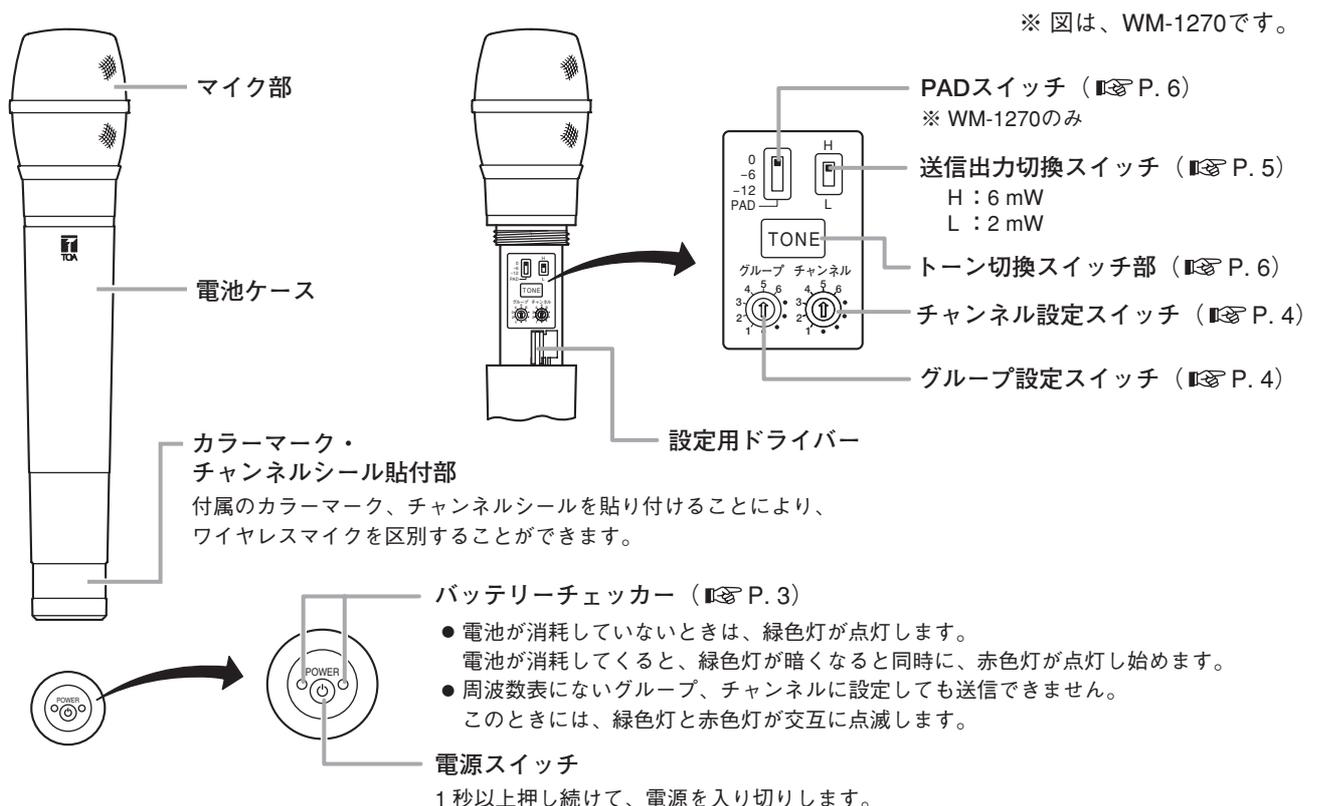
- 800 MHz帯B型PLLシンセサイザー方式を採用しており、30波の周波数を設定できます。
- 電源は単3形乾電池を使用できます。
- 金属製ケースを採用することで、質感を高めています。
- 抗菌処理を施しているため、衛生上、安全に使用できます。
- 内蔵アンテナを採用しています。
- 同じ場所で最大30波を使用できます。
- WM-1270は、PADスイッチによって最大入力音圧を130～142 dB SPLの範囲で設定でき、幅広い入力音圧への対応が可能です。
- WM-1230は、防滴構造を採用することによってIPX4*の防水性能を実現しています。

* 雨などの水の飛沫がかかるような状況でも使用できる防まつ形の性能です。

使用上のご注意

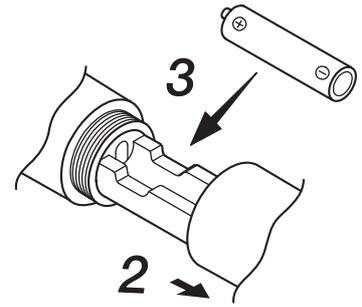
- このワイヤレスマイクは電波法に規定される技術基準適合証明品です。機器にその証明番号（証明ラベル）が貼ってあります。傷つけたりはがしたりしないでください。
- 分解や改造は法律で禁じられています。
- 床に落としたり、固い物に当てたりしないでください。故障の原因となります。
- 夏の閉めきった車内のような温度の高い所や、湿度の高い所に置かないでください。故障の原因となります。
- 汗や海水のかかる所では使用しないでください。故障の原因となります。
- WM-1230の防水性能はIPX4（防まつ形）ですが、水中や強い雨で使用したり、直接水をかけたりしないでください。故障の原因となります。
- 本機を清掃するときには、必ず電源を切ってから、乾いた布でふいてください。また、ひどい汚れは中性洗剤をしみこませた布を使用してください。ベンジン・シンナー・アルコール類・化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因になります。
- ワイヤレスマイクを使用している近くで携帯電話を使用しないでください。ノイズが入ることがあります。

各部の名称



電池交換のしかた

- 1 電源スイッチを1秒以上押し続けて、電源を切る。
- 2 電池ケースを左方向に回し、ケースを外す。
- 3 電池収納部の(+)と(-)の表示に合わせて、単3形乾電池(1個)を入れる。
- 4 電池ケースを元どおりにしっかりと締める。



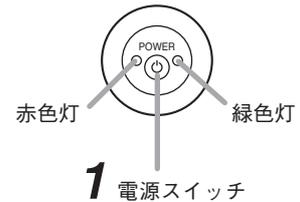
● 乾電池の交換時期

バッテリーチェッカーは、電池が消耗してくると次第に緑色灯が暗くなり、赤色灯が点灯し始めます。

赤色灯だけが点灯する状態になったら、新しい乾電池と交換してください。

[乾電池の使用時間の目安]

乾電池の種類	送信出力切換スイッチ*の位置	連続使用時間
マンガン乾電池 (黒) R6PU	H (6 mW)	約10時間
	L (2 mW)	約14時間
アルカリ乾電池	H (6 mW)	約24時間
	L (2 mW)	約34時間



* 詳しくは、
P.5「送信出力切換スイッチについて」を
お読みください。

操作のしかた

- 1 ワイヤレスマイクとワイヤレスチューナーのグループおよびチャンネルが同じ番号に設定されていることを確認する。
- 2 電源スイッチを1秒以上押し続けて、電源を入れる。
このとき、バッテリーチェッカーの緑色灯が点灯していることを確認してください。
- 3 使い終わったら、電源スイッチを1秒以上押し続けて、電源を切る。

上手な使いかた

● マイクと口もとの距離

マイク部は口もとから5～10 cm程度離すようにすると、音の明瞭性が良くなります。

● ワイヤレスマイク間の距離

ワイヤレスマイクを2本以上使用するときは、ワイヤレスマイク間の距離を50 cm以上離して使用してください。近づけ過ぎると、混信したり、音が途切れたりすることがあります。

● ワイヤレスマイクと受信アンテナの距離

ワイヤレスマイクと受信アンテナの距離は、3 m以上* (送信出力が6 mW時) または2 m以上* (送信出力が2 mW時) 離して使用してください。距離が近過ぎると、混信したり、誤動作したりすることがあります。やむをえず近づけて使用する場合は、ワイヤレスチューナーのアンテナアッテネーターを入れることをお勧めします。

* アンテナの設置場所や同軸ケーブルの長さにより異なります。

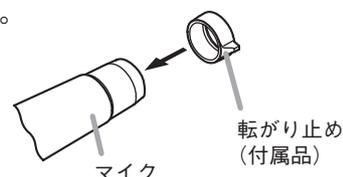
● PADスイッチについて (WM-1270のみ)

音量が大きくて音声が歪むときは、PAD (入力感度切換) スwitchを-6 dBまたは-12 dBの位置に切り換え、感度を下げて使用してください。

※ 詳しくは、P.6「PADスイッチについて」をお読みください。

● 転がり止めについて

必要に応じて、付属の転がり止めを使用してください。机などからマイクが落下するのを防ぐことができます。



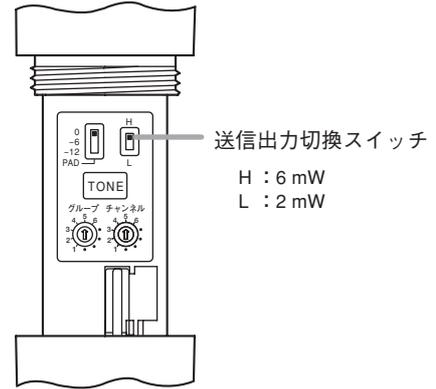
送信出力切換スイッチについて

送信出力は、6 mW（送信出力切換スイッチが「H」の位置）と2 mW（送信出力切換スイッチが「L」の位置）の2段階に切り換えられます。使用条件*1や連続使用时间*2（電池寿命）に合わせて設定してください。

※ お買い上げ時は「H」に設定されています。

- *1 ・長い通達距離が必要な場合は、「H」に設定してください。
- ・同じ場所で7波以上を同時に使用するときは、「L」に設定してください。
- ・連続使用時間を長くしたいときは、「L」に設定してください。

*2 送信出力切換スイッチの設定による連続使用时间については、P.3「乾電池の交換時期」を参照してください。

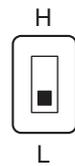


■ 設定例

下記の設定は代表例であり、実際の使用環境に応じた設定が必要な場合があります。

● 7～30波を同時に使用する場合の設定

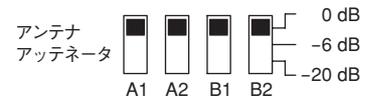
ワイヤレスマイクの送信出力切換スイッチを「L」の位置に設定します。



● 7～15波を同時に使用する場合の設定

減衰量の合計値を、-20 dBに設定します。

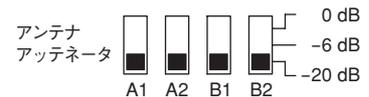
- アンテナ混合分配器の設定
WD-1810のアンテナアッテネータースイッチを「-20 dB」の位置に設定します。
- ワイヤレスチューナーの設定
WT-1822/1824のアンテナアッテネータースイッチを「0 dB」の位置に設定します。
- 使用するグループを奇数が偶数のいずれかを選び、そのグループの中から最大15波を設定します。



● 16波を同時に使用する場合の設定

減衰量の合計値を、-26 dBに設定します。

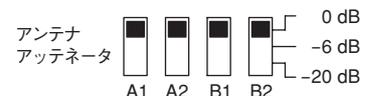
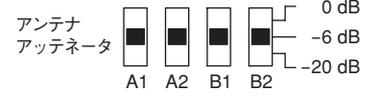
- アンテナ混合分配器の設定
WD-1810のアンテナアッテネータースイッチを「-20 dB」の位置に設定します。
- ワイヤレスチューナーの設定
WT-1824のアンテナアッテネータースイッチを「-6 dB」の位置に設定します。



● 17～30波を同時に使用する場合の設定

減衰量の合計値を、-26 dBに設定します。

- 1台目のアンテナ混合分配器の設定
WD-1810のアンテナアッテネータースイッチを「-20 dB」の位置に設定します。
- 2台目以降のアンテナ混合分配器の設定
WD-1810のアンテナアッテネータースイッチを「-6 dB」の位置に設定します。
- ワイヤレスチューナーの設定
WT-1822/1824のアンテナアッテネータースイッチを「0 dB」の位置に設定します。



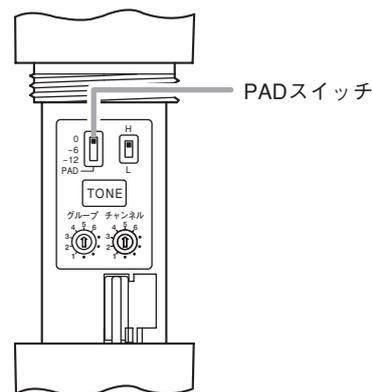
● 旧製品と組み合わせる場合の同時使用は最大6波

以下の商品が1つでも含まれている場合は、同一グループで同時に最大6波で使用してください。（7波以上の同時使用はできません。）

- 送信出力切換スイッチのないワイヤレスマイク
- WTU-1830以外のチューナーユニット

PAD スイッチについて (WM-1270のみ)

入力感度は、0 dB、-6 dB、-12 dB の3段階に切り換えられます。
 チューナーの音量調節つまみを「2時」の位置に合わせたときに音声が歪まないように設定してください。
 大きな声を出したときに音声が歪む場合は、PAD スイッチを「-6 dB」または「-12 dB」の位置に設定し、感度を下げてください。
 ※ お買い上げ時は、「0 dB」に設定されています。



PAD スイッチと最大入力音圧の関係は、次のとおりです。

PAD スイッチ	最大入力音圧
0 dB	130 dB SPL
-6 dB	136 dB SPL
-12 dB	142 dB SPL

トーン切換スイッチについて

このスイッチの設定を変えるときは、販売店にご相談ください。

■ 「トーン」のはたらき

ワイヤレスマイクの電源が入っていないときや、ワイヤレスマイクの電源が入っていても妨害電波が強いとき、妨害電波の音声や雑音聞こえることがあります。
 この対策として、ワイヤレスマイクの電波にトーン信号をのせて送信し、ワイヤレスチューナーではトーン信号の含まれていないワイヤレスマイクの電波は、音声を出力しないようにしています。本機はこのトーン信号を3種類搭載しており、状況により切り換えることができます。

☒ ☒ 混信が非常に強い場合は、トーン信号の周波数を変えても正常に使用できないことがあります。

■ トーン切換スイッチの設定のしかた

1 電源スイッチを切り、電池ケースを左方向に回し、ケースを外す。

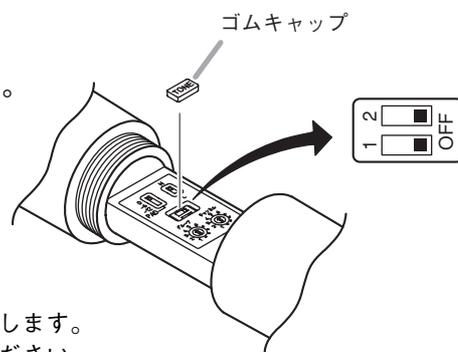
ご注意 電源を入れたまま設定しても切り換わりません。

2 トーン切換スイッチ部に付いているゴムキャップを外す。

3 トーン信号の周波数をボールペンの先などで設定する。

ご注意 トーン信号の周波数は、スイッチ位置により下表のように変化します。
 チューナーユニットのトーン信号の周波数も同時に変更してください。

4 トーン切換スイッチ部にゴムキャップを取り付け、電池ケースを元どおりにしっかりと閉める。



スイッチ位置	トーン信号周波数
	B1、B3 グループ：32.768 kHz B2、B4 グループ：32.718 kHz B5、B6 グループ：32.818 kHz
	すべてのグループ：32.718 kHz
	すべてのグループ：32.768 kHz
	すべてのグループ：32.818 kHz

ご注意

- ワイヤレスマイクとチューナーユニットは、グループ番号、チャンネル番号、およびトーン信号の周波数がそれぞれ一致しないと正しく受信できません。
- お買い上げ時のトーンスイッチの位置は1、2ともに「OFF」の位置に設定しています。
- この機能は、トーン切換スイッチの付いているワイヤレスマイクとチューナーユニットの組み合わせでのみ使用できます。トーン切換スイッチの付いていない機器の組み合わせでは、スイッチ1、2ともに「OFF」の位置で使用してください。

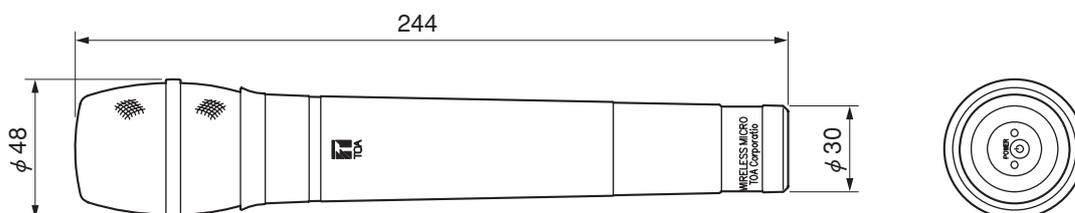
故障かな？と思ったら

症 状	確かめるところ	対処のしかた
電源スイッチを入れてもバッテリーチェッカー（緑色灯、赤色灯とも）が点灯しない。	電池の極性は正しいですか？	電池を正しく入れ直してください。（ P. 3 ）
	電池は消耗していませんか？	新しい電池と交換してください。
電源スイッチを入れると、バッテリーチェッカーの赤色灯が点灯する。	電池が消耗しています。	新しい電池と交換してください。
電源スイッチを入れると、バッテリーチェッカーの緑色灯と赤色灯が交互に点滅する。	周波数表にないグループ、チャンネルに設定されていませんか？	「周波数表」を見て、グループ、チャンネルを設定し直してください。（ P. 4 ）
電源スイッチを入れても受信表示灯が点灯しない。（受信しない。）	ワイヤレスマイクとワイヤレスチューナーは同じグループ、チャンネルに設定されていますか？	ワイヤレスマイクとワイヤレスチューナーを同じグループ、チャンネルに設定し直してください。（ P. 4 ）
	ワイヤレスマイクとワイヤレスチューナーは同じトーン信号周波数に設定されていますか？	ワイヤレスマイクとワイヤレスチューナーを同じトーン信号周波数に設定し直してください。 ※ トーン切換スイッチの位置を同じにしてください。（ P. 6 ）
同時に使用している他のワイヤレスマイクと混信する。	他のワイヤレスマイクとグループは同じ番号に、チャンネルは異なる番号に設定されていますか？	「周波数表」を見て、グループ、チャンネルを設定し直してください。（ P. 4 ）
	ワイヤレスマイク間の距離が近づき過ぎていませんか？	ワイヤレスマイク間の距離を 50 cm 以上離して使用してください。
	ワイヤレスマイクが受信アンテナに近づき過ぎていませんか？	ワイヤレスマイクは受信アンテナから 3 m 以上（6 mW 時）または 2 m 以上（2 mW 時）離して使用してください。

外観寸法図

● WM-1270/1230

単位：mm



仕様

品番	WM-1270	WM-1230
電波型式	F3E	
送信周波数	806.125 ~ 809.750 MHz (30波のうち1波)	
トーン信号	3波切換式	
発振方式	水晶制御 PLL シンセサイザー方式	
定格空中線電力	2 mW (L) / 6 mW (H)	
到達距離	条件の良い屋外にて、約 60 m : 2 mW (L) *1 条件の良い屋外にて、約 100 m : 6 mW (H) *1	
変調感度	± 4.8 kHz (1 kHz、94 dB SPL 入力時)	± 4.8 kHz (1 kHz、90 dB SPL 入力時)
最大入力音圧	142 dB SPL (PAD -12 dB、± 38 kHz 偏移時)	126 dB SPL (± 38 kHz 偏移時)
入力等価雑音	34 dB SPL 以下 (A カーブ使用)	
使用マイクロホン	単一指向性ダイナミックマイクロホン	単一指向性エレクトレットコンデンサー型
周波数特性	80 ~ 15,000 Hz	100 ~ 12,000 Hz
プリエンファシス	50 μs	
アンテナ	内蔵型	
使用電池	単 3 形乾電池 R6PU (1 個)	
電池持続時間	約 14 時間 (2 mW 時) / 約 10 時間 (6 mW 時) マンガン乾電池 (黒) R6PU、常温・連続使用にて	
使用温度範囲	0 ~ +40°C	
防水性能	—	IPX4 *2
仕上げ	ボディ：アルミ、ダークグレー (マンセル N2.0 近似色)、塗装 ヘッド：金属メッシュ (鉄)、ダークグレー (マンセル N2.0 近似色)、塗装	
質量	335 g (電池含む)	285 g (電池含む)

*1 受信側 ATT : 0 dB 時

*2 雨などの水の飛沫がかかるような状況でも使用できる防まつ形の性能です。

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 付属品

マイクホルダー (φ30 ~ 35 mm、W5/8 → W5/16 変換アダプター付き)	1
単 3 形乾電池 (R6PU)	1
設定用ドライバー (本体内蔵)	1
カラーマーク (6色)	1
チャンネルシール	1
収納ケース	1
転がり止め	1

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル 0120-108-117 ナビダイヤル 0570-064-475 (有料) FAX 0570-017-108 (有料) ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。
----------------------	--	--

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ <http://www.toa.co.jp/>

TOA 株式会社

133-07-242-80